

これからの 治療と就業生活の 両立支援を考える 研究会

第3回

2019
SAT 12 / 14

無料 13:30-16:30

会場 / ヒューリックホール&
ヒューリックカンファレンス

東京都台東区浅草橋 1-22-16 ヒューリック浅草橋ビル
JR 総武線 浅草橋駅 (西口) より徒歩 1 分
都営浅草線 浅草橋駅 (A3 出口) より徒歩 2 分

近年、わが国においては、がんや難病をはじめとする様々な病気について、治療技術の進歩により、それらの病気を持ちながらも、一定の配慮があれば、就労可能な労働者が増加しています。政府も、一億総活躍社会の実現に向けて、治療と仕事の両立支援（以下、両立支援）を積極的に推進しています。厚生労働省からは、2016年2月に「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」が公表されました。その結果、両立支援を進めるために、当事者を取り巻く関係機関の連携が進んできました。一方で、関係機関の連携が進むにつれ、色々な課題も出てきました。特に、経営資源に限りのある中小企業においては、大企業以上に両立支援を進めにくい現状があります。そこで、当事者の方々や、両立支援に関わる様々な職種の方々が、これからの両立支援について共に考える場を設けたいと考え、これまで2回の研究会を企画しました。第3回目の今回は、テーマを「経営者に響く治療と仕事との両立支援とは」として、経営者、支援者、当事者を演者、シンポジストとしてお招きし、治療と仕事の両立支援について、参加者の皆様と考えたいと思います。

経営者に響く 治療と仕事の 両立支援とは

プログラム

研究班から：
研究班の活動から見てきたこと
北里大学医学部公衆衛生学 教授 堤明純

基調講演

「働きたい」と願う多様な人たちが
力を発揮できる企業経営の実践
パーソルチャレンジ株式会社 代表取締役 井上 雅博

シンポジウム

ユニバーサル就労支援の立場から
社会福祉法人中心会 ユニバーサル就労支援担当 伊藤 早苗

中小企業経営者と伴走する
社会保険労務士の立場から
オーキッズ社労士事務所 代表 後藤 宏

当事者の立場から
かながわコロナ（潰瘍性大腸炎患者会）会長 花岡 隆夫

研究者の立場から
北里大学医学部公衆衛生学 講師 江口 尚

事務局 / 北里大学医学部公衆衛生学単位
(担当：江口 尚)

TEL:042-778-9352 FAX:042-778-9257

E-mail:syuroushien@gmail.com

事前登録制

[定員 50 名程度]

どなたでもご参加いただけます

研究会ホームページへ
[www.med.kitasato-u.ac.jp/
~publichealth/bs/](http://www.med.kitasato-u.ac.jp/~publichealth/bs/)

